



ヨーロッパカー&クラシックカーによるカーツアー

Nippon ClassicCar Rally 2007

大和路・奈良

案内状

新緑の最高の気候の中、歴史ある奈良・大和路を駆け抜けるクラシックカー&欧州車によるツアーイベントを開催致します。今回は、奈良国立博物館様のご協力により、初めて奈良公園内に皆様のクルマの乗り入れを実現する事が可能となりました。歴史ある奈良国立博物館と美しい奈良公園という最高のロケーションをメイン会場に、古都・奈良の歴史街道を皆様とご一緒に、楽しく駆け抜けてみたいと思います。また、今回はゲストに世界的ラリーに参戦されている増岡浩選手（パリダカラリー優勝）と新井敏弘選手（PCWRC ワールドチャンピオン）も参加され、皆様とご一緒にツアーをお楽しみ頂きます。開催趣旨にご賛同賜り、ぜひご参加頂けますようお願い申し上げます。

■開催趣旨

『いつまでたっても Young Man & Woman …そして「くるま文化も地球も大切に…」』

自動車の価値とは？と聞かれて様々な考えや思いがあると思われまます。「命の次に大切なもの…」「唯一の趣味…」「単なる移動手段…」などなど…。また、昨今の情報量の多さと伝達スピードの速さにより、世の中のモノに対する価値観の変化は目まぐるしく変わっております。

さて、日本に自動車が登場して約 110 年近く経ち、クルマに対する価値観も、ひと昔とは違い大きな変化の時期がやってきたと考えられます。そこで、このツアーイベントは「クルマは文化」をテーマに、クルマの存在が日常である現在で、歴史的価値のある文化遺産として位置づけ、小さい頃描いたクルマに対する「夢」や「希望」を参加者から観戦のギャラリーまでが、もう一度思い起こさせる事の出来る「素敵なイベント」として実施したいと考えます。また、自動車をドライブすることは「楽しい」時間を過ごす事の出来る、素晴らしい瞬間ですが、ひとたび事故を起こしますと取り返しのつかない程の破壊力を持ったものでもあります。その「怖さ」も今回のツアーイベントを実施する事で、改めて「クルマの運転」の「楽しさ」とともに「安全」を認識していただき、運転マナーの向上と安全運転の啓蒙活動の一環として貢献させたいと考えます。

■コースプレビュー

今回のラリーコースは、メイン会場を奈良公園にございます奈良国立公園を朝 9:00 にスタート。武道の発祥地柳生の里を抜け、美しいダムサイトの布目の里ぶらんぽとを 1CP として立寄ります。その後、山あいの景色を眺めながら 2CP である HKS 関西サービスに向かいます。日本を代表するチューナーとして各メディアで有名な向井社長と多くのファンの皆様が皆様の来場をお迎えされます。その後、名阪国道・西名阪自動車道を一気に西に向かい、奈良県と大阪府の堺になる信貴生駒スカイラインを走ります。生駒山から眺める絶景に心を驚かせながら、3CP である生駒山上遊園地前特設会場を通過。そして昨年度も心温かいお迎えをして下さいましたホンダカーズ大和奈良東生駒店の 4CP に向かいます。その後セレブの街帝塚山を抜けて、阪奈道路を走行しメイン会場の奈良国立博物館に到着し 1LEG は終了となります。奈良国立博物館内で昼食を済ませて、LEG2 がスタートします。今度は天理街道を一気に南下、木材の街桜井市にある木材振興センターあるぼーの 5CP に向かいます。途中、奈良盆地の風景を眺めての走行は、風情を感じさせるものとなるでしょう…続いて、奈良の中央の都市「橿原」に向かいます。そちらでは 6CP の奈良三菱橿原店が、お店をあげて皆様のご来場を心待ちにしておられます。その後、菊の産地として有名な葛城市へ向かいます。葛城市では 7CP としてホンダカーズ大和奈良葛城店で会社あげてのお迎え。そして葛城市の象徴とも言える「葛城市屋敷山公園」に設置される 8CP に向かいます。屋敷山公園はクルマの乗り入れは本来は乗り入れ禁止ですが、今回は特別に皆様のお車の乗り入れを許可下さいました。そして一気に北上し三度奈良国立公園でラリーのゴールを迎えます…その後は、奈良国立博物館内のレストラン葉風泰夢で表彰式&パーティーを行います。また、各 CP での素敵なお土産やお楽しみスペシャルステージ (SS) も準備しお楽しみいただきます。